

洪水に見舞われた地域で、通学路を覆った水を足で  
かき分けながら学校に通う子ども。(バングラデシュ)  
© UNICEF/UN0286416/Akash



## 子ども版 Version for Children (公財)日本ユニセフ協会 仮訳

国連子どもの権利委員会

# 気候変動に焦点を当てた 子どもの権利と環境に関する 「一般的意見26」

日本から、そして世界中の国から、気候変動や環境問題を自分たちの問題ととらえ、将来の世代のために、今、みんなで行動しなくてはと真剣に考える、たくさんの子もたちの声が届きました。その思いに、声に応えて、国連子どもの権利委員会が、世界中の国と企業が取り組むべきことを示すために、一般的意見26を発表しました。

みなさんが、これを読んで、関心を持ち、家庭や学校で、また、企業や政府のリーダーとの対話のために活用されることを期待しています。

大谷美紀子 国連子どもの権利委員会委員

子どもの権利条約とは、世界の国々が子どもの権利を守ることを約束した重要な取り決めです。条約には、子どもとは誰か、子どもがもつすべての権利、そして子どもの権利を守り、進め、実現するための政府の責任について書かれています。

国連子どもの権利委員会は、いろいろな国出身の18人の子どもの権利の専門家の集まりです。委員会は年に3回、スイスのジュネーブに集まり、条約に入っている国々が子どもの権利をどのように守り、進めているかを話し合います。また、各国に対して、どのように子どもの権利をさらに守るべきなのかを助言します。

委員会は、「一般的意見26」と呼ばれる文書を作成しました。各国の政府に対して、子どもの権利がどのように環境問題や気候変動と関係しているのか、子どもの権利を守るために各国が何をしなければならないのかを説明する文書です。この「子ども版」は、それを子ども向けにしたものです。委員会が「一般的意見26」をつくるのを助けた「子どもアドバイザーチーム」が、子ども版の作成にも協力しました。



## はじめに

環境破壊によって、世界中で子どもの権利が大きくおびやかされています。子どもたちは、今すぐ行動してほしいと訴えています。子どもの権利は守られなければなりません。清潔で健康的で持続可能な環境は、それ自体が人権であると同時に、子どもたちの権利が守られながら生活していくために必要なものです。

この文書は、なぜ環境問題や気候変動への対策が今すぐ必要なのか、子どもがもつすべての権利を守るために、各国が何をしなければならないのかを説明しています。また、国が、今の子どもだけでなく、将来の子どもたちの権利も守らなければならないということも、はっきりと示しています。

子どもたちが、環境の権利が守られるよう声をあげたことに動かされて、委員会はこの一般的意見を作成することにしました。子どもたちはこの文書ができるまでにとっても重要な役割を果たしました。121カ国の1万6,333人の子どもが、意見やアイデアを出してくれたのです。「一般的意見26」の中で紹介されている子どもたちの言葉は、その中からとったものです。意見の募集は、子どもアドバイザーチームのメンバーと一緒に行いました。

『私たちは未来を生きる世代です。  
もしあなたが地球を破壊したら、  
私たちは、将来、どこで暮らせば  
いいのですか?』と、  
おとなたちに伝えたいです。  
(13歳 男性、インド)

写真：池の水を汲む男の子。

干ばつの影響で水を手に入れることが困難ななか、この地域で暮らす家族は、小さな池の水を動物たちと共有して使っている。(アンゴラ)

© UNICEF/UNI336752/César

## 子どもの権利は、環境や気候変動とどのように関係しているのでしょうか？

すべての子どもの権利はつながりあっていて、どれも同じくらい重要です。子どもの権利の中には、環境破壊や気候変動の影響を特に受けているものがあります。また、教育を受ける権利のように、子どもの権利を守るために重要な役割を果たすものもあります。



ここからは、子どもの権利条約のそれぞれの条文が、環境や気候変動についてどのような意味があるか、を説明しています。条文そのものを読みたい人は、ホームページをご覧ください。

➤ [子どもの権利条約 日本ユニセフ協会抄訳](https://www.unicef.or.jp/crc/childfriendly-text/) >> <https://www.unicef.or.jp/crc/childfriendly-text/>

### 第2条 差別の禁止

環境破壊は、特定のグループの子どもたち、特に、先住民の子ども、少数民族の子ども、障がいのある子ども、そして、災害や気候変動の影響が大きい地域に暮らす子どもに、より大きな脅威となっている可能性があります。国は、子どもたちの間にあるそのような不平等についてもっとよく知るために情報を集め、不平等をなくすための行動をとる必要があります。政府が環境について何か行うときは、子どもたちに悪い影響がおよばないように、特に注意しなければなりません。

### 第3条 子どもにもっともよいことを

環境と気候変動に関係することを決めるときには、政府は、そのことで子どもがどのような影響を受けるのか、また、現在と将来の子どものウェルビーイングと成長をどのように支えるかを考えなければなりません。

### 第6条 生きる権利・育つ権利

子どもは、健康的で安全な環境で暮らし、成長することができ、必要な支援を受けることができるべきです。公害や鉛汚染のような環境破壊によって、子どもたちの命が危険にさらされることは決してあってはなりません。

## 第12条 意見を表す権利

「地球温暖化などの問題は、  
地球規模で協力しなければ  
解決はできません」  
(11歳 女性、中国)

子どもは、環境や気候変動に関連することについて意見を言うことができ、その意見はおとなに真剣に受けとめられるべきです。政府は、環境と気候変動に関係することを決めるとき、子どもたちを参加させ、子どもたちの意見がどのように考慮されたかについて、必ず子どもたちに報告するようにしなければなりません。

## 第13条、第15条 表現の自由 結社・集会の自由

子どもたちはしばしば、人権活動家として、環境に関する権利を守るために行動します。多くの子どもたちは、友達と一緒に、またグループに参加して、お互いに情報や考えを交換しています。国は、安全で成長できる場を提供することで、子どもたちのそのような活動を支援するべきです。また、子どもの人権活動者を保護する法律を作るべきです。

## 第13条、第17条 適切な情報の入手

国は、子どもが、環境と気候に関連する、わかりやすく正しい情報を手に入れることができるようにすべきです。そこには、検討中の計画や決定事項、また、子どもには何ができるのかに関する情報も含まれます。年齢や背景が異なる子どもが理解できるように、さまざまな方法で情報が提供されるべきです。

## 第19条 あらゆる暴力からの保護

環境破壊と気候変動は、不安定な状況や紛争、不平等を招くことがあり、それによって子どもはさらに身体的・心理的な暴力を受けやすくなってしまいます。国は、子どものためのサービスにお金をかけ、暴力の根本的な原因の解決に取り組むことで、子どもを保護するためにもっと努力するべきです。

## 第24条 健康・医療への権利

子どもの心身の健康が、気候変動、汚染、崩れた生態系、生物多様性の喪失によって影響を受けることがあってはなりません。子どもの健康に問題がある場合、医療と支援を受けることができなければなりません。

## 第26条、第27条

## 社会保障を受ける権利、生活水準の確保

子どもは、安全な食料、きれいな水、適切な住まい、そして生活と成長に必要なものを提供されるべきです。政府は、子どもが貧困や、安全でない状況で暮らすことがないようにする必要があります。

## 第28条、第29条

## 教育を受ける権利

子どもは、子どもが理解できる方法で、正しい環境教育を受けられるべきです。環境教育は、子どもが環境とつながり、環境を尊重するように手助けするものであるべきです。子どもが学ぶ場所は、環境破壊から守られているべきです。

## 第30条

## 先住民の子どもと少数民族の子どもの権利

先住民の子どもや少数民族の子どもの生活、生存、文化的慣習は、多くの場合、自然環境と密接に結びついています。政府は、それらの子どもたちの権利を保護し、環境に関して何かを決定するときにはいつも子どもたちを参加させるべきです。

## 第31条

## 休み、遊ぶ権利

子どもは、清潔で安全な場所で遊んだり活動したり、自然と関わるができるべきです。国は、新しい地域や子どもが訪ねる可能性のある場所に関する計画を立てるときには、子どもがどこでどのように遊び、休むことができるか考える必要があります。

## 清潔で健康的で持続可能な環境で暮らす権利

国連子どもの権利委員会は、子どもには清潔で健康的で持続可能な環境で暮らす権利がある、と説明しています。

子どものすべての権利が守られるためには、清潔な環境が必要です。子どもは、きれいな空気と水、安全な気候、健全な生態系と生物多様性、健康的な食料、汚染されていない環境を手に入れることができるべきです。

おと私たちは、彼ら自身が経験することのない「未来」に対して、様々な決定を下すことを、やめるべきです。

私たち世代は、自分たちの命がかかっているのだから、私たちこそが、気候変動問題を解決する重要な役割を担わなければなりません。

(17歳 女性、クロアチア)

## 清潔で健康的で持続可能な環境への権利を含む 子どもの権利を守るために、 各国は何をするべきなのでしょう？

- **子どもの権利を守る**：思いきった具体的な対策をとって、すべての子どもが清潔で健康的で持続可能な環境の中で成長できるようにするという約束を守り、子どもの権利を尊重し、守り、実現する。
- **影響評価**：環境に関する決定が子どもたちにどのような影響をこれから与えるか、またすでに与えているのかを理解し、そして解決するために、「子どもの権利影響評価」を定期的に行う。その時、子どもの年齢や生まれ育つ環境によって、受ける影響がどのように違うのかということに特に注意する。
- **企業**：企業が環境を汚染したり、子どもたちに被害をおよぼしたりすることを防ぐため、また、環境への影響を隠さないようにするために、法律や規制、政策をつくって、企業も子どもの権利を守るようにする。
- **支援や補償**：子どもたちが環境や気候変動の被害や影響を受けた場合、解決策や支援、また補償を受けられるようにする。
- **国際協力**：環境問題は国境でとどまらないため、他の国々と協力する。最も環境に影響をおよぼしている国や、最も多くの資源をもっている国々は、他の国々よりも積極的に行動し、最も影響を受けている国々を支援する。

### 各国は、気候変動に関して何かを決定をする時、必ず子どもの権利について考え、 子どもに関して何か決定をする時、必ず気候変動について考えるべきです。

- 地球温暖化をおさえるという約束を守り、気候変動に関して科学者の言うことに従い、急いで行動をおこして、気候変動の影響を**緩和する**（温室効果ガスの排出の削減などによって気候変動の原因を減らす）。
- 気候変動に**適応する**（今起きている気候変動の被害を減らす）ための計画や決定、解決策を決めるとき、子どもたちのことを考える。また、すでに気候変動の影響を受けている子どもたちを守る。たとえば、学校の建物や排水管を暴風雨や洪水などの異常気象にたえられるものにしたたり、緊急時に食料を提供できるようにしたりする。
- 気候変動により、子どもの権利に影響を及ぼすような**損失や損害**が起きている国々に、資金や技術を提供して支援する。
- 複数の国で活動するグローバル企業などの**企業**が、温室効果ガスの排出量を急いで削減し、再生可能エネルギーを使うようすすめることによって、子どもの権利に悪影響を与えないようにする。
- 気候変動に対応するための**資金を支出する**場合には、子どもの権利を損なうおそれのある活動を支援しないようにする。